■事績で見る「日蓮大聖人の御生涯」

※ **妙法弘通と大難（迫害）**の人生

立宗宣言

南無妙法蓮華経の題目
日蓮と名乗る

『立正安国論』の提出
（第1回国主諫暁）

北条時頼

二難が起こると予言
・自界叛逆の難
・他国侵逼の難

三度の高名

第2回国主諫暁

平左衛門尉頼

第3回国主諫暁

平左衛門尉頼

松葉ケ谷の法難

伊豆流罪

小松原の法難

竜の口の法難・佐渡流罪

四度の大難

発迹顕本
『開目抄』人本尊開顕の書
『観心本尊抄』法本尊開顕の書

身延入山

熱原の法難（**出世の本懐**）
※弟子が受けた本格的な最初の法難
↓ 大聖人は「民衆が大難に耐える強き信心を確立した」と確信された。

南条時光が活躍

日興上人に付嘱・御入滅